

積算資料 建設資材価格指数

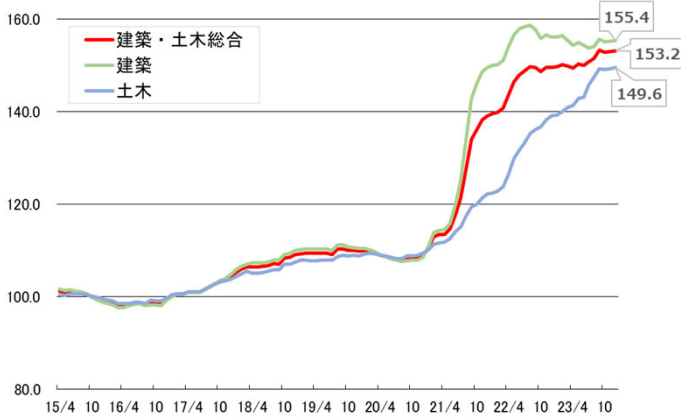


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移 (2023年12月調査)

全国・2015年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同期比
建築・土木総合	153.2	+0.2	+3.6
建築	155.4	+0.2	-0.7
土木	149.6	+0.3	+10.5

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+26.7高松●コンクリート二次製品：+7.3大阪、+0.2仙台●骨材：+17.4大阪、+7.6新潟、+1.1東京●瀝青材：+0.9那覇	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-2.9仙台、-2.7札幌、-2.4新潟・高松、-2.2広島、-2.1名古屋・福岡、-1.7東京・大阪●普通鋼鋼材：-1.1仙台、-0.4新潟、-0.2東京
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+17.9高松●コンクリート二次製品：+10.5大阪●骨材：+17.0大阪、+7.4新潟、+0.8東京	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-1.4仙台、-0.1東京・新潟
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+36.9高松●コンクリート二次製品：+0.3仙台・大阪●骨材：+18.2大阪、+7.8新潟、+1.5東京●瀝青材：+3.2那覇	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-5.5東京・名古屋・大阪・広島、-5.3福岡、-5.1仙台・新潟・高松、-4.9札幌、●普通鋼鋼材：-0.9仙台、-0.7新潟、-0.4東京

指数集計対象資材の市況

12月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月から0.2ポイント上昇し153.2となった。総合指数が前月を上回るのは2カ月連続で、前年同月比もプラス3.6ポイントと前月から上昇幅は拡大した。12月調査では、軟調な原油相場の影響を受けた瀝青材が沖縄を除く全国で下落したものの、生コンやコンクリート二次製品は、引き続き各地で上昇している。加えて、コンクリート用砂などの骨材も、製造・輸送コストの上昇を販売価格に転嫁する動きが強まり、東京、大阪といった主要都市で上昇した。こうした骨材の上昇は、生コンなどの製造コストを押し上げる要因となることから、今後もコンクリート製品は強基調で推移する可能性が高い。そのため、指数は引き続き上昇傾向が続くことが予想される。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212